

香川県広域水道企業団水道事業地区別意見交換会
令和3年度会議議事録（中讃ブロック統括センター）

会議日時

令和3年12月6日（月） 午前10時から

場所

香川県広域水道企業団 中讃ブロック統括センター 3階 第1会議室

出席人数

30人（委員16人・職員14人・傍聴なし）

議題

1. 香川県広域水道企業団の概要について（パンフレット「かがわの水道」）

【意見】

- ① このパンフレットは全戸に配るのか。大勢の人に知っていただかないと広域水道の理解が得られない。
- ② 災害時においては断水を前提に考えてはいるが、応急給水については、どれくらいの対応をしてくれるのか。

【回答】

- ① 「かがわの水道」については全戸配布ではないが、広報紙「水まち通信」は全戸配布している。
- ② 災害時における応急給水体制については、中讃ブロック集約後、統一的な運用の方向性を企業団と各7市町でこれから協議を進めていくところである。

2. 中讃ブロック統括センターの業務概要について

【意見】

特になし

【回答】

3. 令和2年度決算の概要について

【意見】

- ③ 決算資料については、自己水源の使用状況など具体的なものを示してほしい。
- ④ 有収率について、市町により高い低いがあるが、どのくらいの目標を持っているのか。

【回答】

- ③ 令和2年度決算報告の概要は、広報紙「水まち通信」Vol.5号にて、11月企業団議会で認定された内容をお知らせしている。資料については、今後検討させていただきます。
- ④ 有収率は90%程度を目指して上げていきたいが、財政的な事情もあるので具体的な目標値の設定はない。大規模の修繕により有収率が回復しているところもあるので、毎年漏水調査を行い、早期修繕を目指すとともに、併せて、耐震化工事を計画的に実施してまいりたい。

4. その他について

【意見】

- ⑤ 水道管の取り換えに関して、新しい管は地震にどの程度まで耐えられるのか。
- ⑥ 各市町で整備状況は異なっていると思うので、整備にあたってはバランスのとれた配分で遅れているところには早めに投資をして、ここ10年で頑張っ南海地震に耐えられる水道管にしてほしい。
- ⑦ 平成29年度に香川県の水道事業が一本化され、今の段階では水道料金が異なっているが、今後料金が上がる場合、なぜ上がるのかがわかるように、資料を公開してほしい。企業団の議会を傍聴したが、県民の声がその段階で反映するというものではなかった。

【回答】

- ⑤ 耐震管は地震レベル2では震度7程度に耐えられるとされ、メーカーの調査では、東日本大震災時にもこのタイプの水道管は抜けなかったとのことだった。配水管等の耐震化については、この耐震管と、もうひとつ、伸縮性があり地震に強い種類のポリエチレンパイプの2種類を採用して、更新工事を行っている。
- ⑥ 貴重な意見に感謝する。
- ⑦ 料金統一化に向けては、来年度から本格的な検討に取り組むこととしている。今の予定では、令和10年である。この中でも皆さんの意見も聞きながら、と思っている。